

科目・コース（ユニット）名： 行動科学Ⅳ（こころと病Ⅱ）【医学3】
英語名称： Behavioral ScienceⅣ (Mind and DiseaseⅡ)

【担当責任者】三浦 至（神経精神医学講座）

【連絡先】

神経精神医学講座医局：024-547-1331（内2433）

メールアドレス：neuropsych@fmu.ac.jp

【開講年次】 3年, 【学期】前期, 【必修／選択】必須,

【授業形態】講義

【概要】基本的な医療モデルの一つにbio（生物）-psycho（心理）-social（社会）モデルがあり、全ての医師には患者を多面的にとらえることが求められる。「こころと病」では、病に際しての人の心理や行動について、医療者として知っておくべき患者の心理状態や防衛機制、適応などについて学習する。

「こころと病Ⅱ」は行動科学の一つとして、精神疾患を持つ人の多様な特性、精神状態、行動について具体例を挙げながら概説し、全人的医療を行うための考え方やスキルを習得する。

【学習目標】

1. 精神医学の概念や特徴、精神疾患の分類を説明できる。
2. 精神疾患を持つ人の多様性やスティグマについて説明できる。
3. さまざまな精神疾患を持つ人の特徴や心性、行動を説明できる。
4. 精神疾患に対する精神療法的関わりの基本を説明できる。
5. 認知行動療法について説明できる。

【教科書】特になし

【参考書】

現代臨床精神医学 改訂第12版 金原出版

カプラン臨床精神医学テキスト MEDSI

【成績評価方法】

出席状況とレポートにより評価する。出席については規定に基づき原則として講義の2/3以上の出席を要する。

【学習上の注意事項】

特記事項なし

【垂直的統合授業の実施内容】

1 年次の行動科学Ⅰ（基礎心理学）、Ⅱ（コミュニケーション論）などで学習した内容が、こころと病で臨床的内容として学習する。

【水平的統合授業の実施内容】

さまざまな精神疾患の特徴や経過・予後などについて、精神科の系統講義を統合してこころと病Ⅱの講義を理解する必要がある。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2026/4/02	木	1	（講）病における行動科学の重要性（1）	日高 友郎	
2	2026/4/02	木	2	（講）病における行動科学の重要性（2）	日高 友郎	
3	2026/4/16	木	1	（講）精神疾患の概念や多様性、スティグマ	三浦 至	
4	2026/4/16	木	2	（講）精神疾患を持つ人の特徴・心性（1）	三浦 至	
5	2026/4/23	木	1	（講）精神疾患を持つ人の特徴・心性（2）	板垣 俊太郎	
6	2026/4/23	木	2	（講）精神療法・心理療法	松本 貴智	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
三浦 至	教授	神経精神医学講座
板垣 俊太郎	准教授	神経精神医学講座
日高 友郎	講師	衛生学・予防医学講座
松本 貴智	助教	神経精神医学講座

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

精神科の医師として実務経験のある教官が実施する。（三浦至、板垣俊太郎）